

地域の農業や暮らしに貢献

JA掛川市の自己改革への 取り組みを紹介します



有機栽培茶への 取り組み

地域の特色を生かし付加価値を高める取り組みとして、原泉地区で「原泉茶業有機栽培茶生葉組合」を立ち上げ、有機栽培茶の製造に取り組んでいます。



被覆茶への取り組み

ニーズに合わせた茶の製造と、付加価値を高める茶栽培として取り組んでいます。栽培に関する研修会や、被覆資材を特別価格で提供したことにより、栽培面積も拡大しています。

JAグループでは、『食と農を基軸として地域に根ざした協同組合』として、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会を実現するため、①農業者の所得向上 ②農業生産の拡大 ③地域の活性化を基本目標とする自己改革に取り組んでいます。JA掛川市でも多様な農業・地域の実態に応じて、自らの創意工夫に基づく積極的かつ多彩な事業を展開しています。そこで、その内容について紹介します。



苺の出荷 バックセンターを稼働

農作業労力軽減による栽培面積拡大や所得向上のため、農家に代わってバック詰めをする「バックセンター」を富部集荷場に設け、出荷者の支援をしています。



野菜苗の提供で“さすが市出荷者”を支援

年々利用者や売り上げが伸びている“さすが市”で安定した品揃えを行うために、JA総合育苗センターで育てた秋冬野菜の苗を出荷者に提供。前年に比べ出荷量が増えました。



新規就農者の受け 入れおよび支援

静岡県がすすめる「がんばる新農業人支援事業」を通じて、掛川市でイチゴの新規就農者に対し、受け入れ農家の紹介と、研修後の農地斡旋や資金相談等のサポートもしています。



農業後継者塾の開催

これからの掛川農業を担うJA青年部員を対象に、外部講師を招き、安定した農業経営を目指すための講義（全7回）を開いています。



農業収入拡大を目指す 新規作物提案会を開催

JA営農指導員が主となり、安定した収入を見込むことができる作物の提案会を開催しました。希望者には個別に対応し、規模や経験等を考慮したアドバイスをしました。



トウモロコシで 地域農業の振興

掛川市農業活性化やる気勢上内田地域塾を主体に、地域の新たな特産品を目指してトウモロコシ“ゴールドラッシュ”を栽培。収穫時期には直売も行いながらPRをしています。



金融移動店舗車「さすが号」の導入と活用

北部区域の店舗再編に伴い導入。倉真・原泉地区を巡回し、貯金取引や各種相談に応じています。また、発電機を搭載しているため、大規模災害時でも営業が可能です。



旬の味覚収穫体験 キャンペーンの実施

JAの事業を利用して頂いた方を対象に、イチゴやジャガイモ、サツマイモなどの収穫体験が楽しめるキャンペーンを実施。食農体験を通じてJAのファンづくりを目指します。

JA掛川市は今後も総合事業を生かし、地域の農業や暮らしを支える存在として、組合員や利用者が必要とされる組織であり続けるため、役職員が丸くなって『自己改革』に取り組んでいきます。